

「アガベ」(題字・伊藤博胤)

 日本社会事業大学
Japan College of Social Work

アガベ

日本社会事業大学同窓会北海道支部【(2016年7月21日発行 第16号)】

(事務局・仁木町大江2-457大江学園内 0135-32-3662)

社大の2日間 2016

6月25日(土)～26日(日)の2日間、道同窓会のメンバー(以下、「メンバー」)は大挙して社大を訪れました。毎年この時期には、社大では「社大福祉フォーラム」(以下、「フォーラム」)が開かれており、併せて県支部長会議である「同窓会幹事会」(以下、「幹事会」)も行われています。

以下、メンバーが参加したその2日間を時系列的に報告します。

25日午前、村上会長、木村副会長、金子事務局長、瀬戸幹事、塚本会員、高田幹事の6人が、社大A棟1階ロビーに集合し、午後から実施する「就活・北海道フェア」(以下、「フェア」)の最終準備を行いました。

この取組は、道同窓会のみならず、同窓会全体の活性化、ひいては社大自体の学生及び同窓会支援の強化のために企画されたものであり、今年は「3年計画の初年度事業」、つまりはパイロット事業として開催してみました。主催は本学同窓会と道同窓会であり、本学同窓会の伊藤顧問及び木村副会長には様々なご助言、ご助力をいただき、本学事務方も諸準備から当日の運営に至るまで大いに活躍してくれました。

これと並行する形で行われていた70周年記念シンポジウムにも、メンバーは参加し、その内容を熱心に聴いてきました。

昼休みから始まったフェアには早速、数人の学生が参加し、就職を含む北海道事情を熱心に訊いてくれ、また本人の就職状況などを話してくれました。面談にあたっては、学生の話しやすさを重視し、卒業8年目の塚本さん(別項報告あり)が中心となって進めました。かなりの事前準備はしたものの、「実際には何人来るだろう」との不安がありました。しかし下記のとおり、杞憂に終わりました。

また、昼休み時間帯には、東京や福島などの支部によるI・Uターン就職相談会も同じ会場で行われました。

フェア及びフォーラムと並行して、午後からは幹事会も開かれ、村上会長などが

出席しました。この中では、2015年度の事業報告及び決算、2016年度の事業計画及び予算が審議されました。また、社大卒業生の組織である同窓会と現在の社大組織である大学当局との間には、色々と認識の開きがあることが今回も語られました。それは、一言で言うならば「母校愛」の乖離ということになるのでしょうか。そして、これはかなり深刻な状況にあることから、同窓会側からの具体的で積極的な当局への働きかけが今後とも必要であると感じました。

幹事会では、今回のフェア取組の趣旨や経過、また来年からの本格実施に向けての他支部との共催呼びかけを行うことができました。

フェア終了後は、メンバーによる「反省会」が清瀬駅前の見世で催され、伊藤同窓会顧問、木村同窓会副会長、数間部長、横山校友室担当、更に途中からは金子教授も駆け付けてくれ、木田賞を受賞した殿村さんを始めとする同窓生3人も参加してくれ、賑やかで大盛り上がりの懇親会となったのでした。

翌26日は、A棟1階ロビーを道同窓会で貸切る形となったため、会場のレイアウトもかなり自由奔放にさせてもらえました。

開始直後から学生が顔を見せ、飯島室長と横山担当の協力もあって、とりわけ昼休みには金子教授の「仕掛け」が功を奏して、多くの学生が面談に参加してくれたのでした。結果、予定時刻を過ぎた14時に「強制終了」とし、2日間の面談学生は15人に上りました。

面談した学生のうち、北海道出身者は4人。全体では、1年生から院生まで様々な学年の学生が来てくれました。学年が上がるにつれ、就職ということを意識した内容となり、面談に時間制限を設けなかったこともあって、長い学生は1時間以上も話していたのでした。また、メンバー側から、「こういう学生は是非、北海道に来てほしいなあ」、「全体として上手くいったね」、「来年が楽しみだ」という感想が早速、出されました。

フェア終了後には、今年度の「日社大市民公開セミナーin釧路」（別項）の打合せ等も恙なく終了することができました。こうして、パイロット事業たる第1回フェアは大いなる成果を挙げることができました。改めて、伊藤顧問、木村副会長及び本学事務局職員のご指導及びご協力に感謝します。本当にありがとうございます。

なお来年は、他の支部にも積極的に声掛けをし、同窓会レベルでの「本格実施」をしていくつもりです。道同窓会のみなさんの更なるご協力をお願いします。

お 詫 び

3回に亘って連載中の「社会福祉法人厚生協会の職員採用の取組と課題」については、次号に第4回（最終回）を掲載予定です。

興味深く読まれていたみなさま方、次号を、乞うご期待！



就活・北海道フェアを終えて



社会福祉法人はるにれの里就労相談員 塚本由希乃

6月25～26日、日本社会事業大学において、北海道同窓会による「就職・北海道フェア」に参加してきました。

学生さんには、社大同窓会や事務局の方々が事前に周知及び案内をして下さっていたということでした。しかし、人が来なくては始まらないという就職説明会で、実際どれくらいの学生さんが来てくれるのか、私たちがどういった北海道の紹介や働くお誘いができるのかは、正直わからないという思いでした。

社大に足を踏み入れたのは、卒業して以来でしたので、約8年ぶりとなります。西武池袋線の清瀬駅で降り、徒歩で20分程の道のりをタクシーで現地へ向かいました。途中の街並み、そして、社大の建物や雰囲気にも「ああこんな感じだった…」と不思議な懐かしさに包まれた時間でした。

さて、フェア1日目は、数名の学生さんが足を運んでくれました。前もって配布をしていた資料に目を通した上で来てくれた人が多く、事前の情報発信の重要性を感じました。面談は、北海道という場所に魅力を感じている学生に対し、どんな所が魅力なのか、何をめざして働きたいと思っているのか、心配なことは何か等といった話題を中心に、長い人で30分以上話していたように思います。こちらが一通り話したように思った後でも最後に何か訊きたいことがあるのか尋ねると、具体的なことから大きなことまで質問をして来る様子が印象的で、私たちが思っている以上に学生さんは情報として聞きたいことがあるように感じました。

そして、2日目は社大の色々な方々のお声掛けのお陰もあり、前日以上の学生さんが足を運んでくれました。1日目同様、北海道と関東の二つの選択肢を前に悩んでいる学生さんが多く、北海道出身者の他に、中には埼玉県などの出身者も数名いました。

「北海道の土地、のんびりした空気にあこがれて…」と本気で移住を検討しているという学生さんもいました。ただ、北海道に行ったことはないし、就職までには行ってみないと…と本格的な足の踏み入れまではもう一歩という心境でもあるようにも感じました。

2日間を通して、主には3年生ついで4年生、2年生の学生さんと話をすることが出来ました。話をすることで感じたことは、関東に住みながら、北海道に向け就職活動をするというハードルについてです。関東圏と同じくらい北海道に就職をしたいと思いついて悩んでいたとしても、移動にはお金がかかるので気軽に見学や面接に行かれないといった経済的負担の部分、そして、北海道の情報が入ってこないという情報の少なさといった部分があり、選択肢を狭めてしまう状況があるように感じました。ただ、そういった学生さんの生の声を聞いたことも良かったように思っています。

今回、学生さんに会場に足を向けるよう声をかけて下さった先生、また、フェアを行うにあたり、お忙しい中、準備や運営にご尽力をいただいた社大関係者のみなさまにも深く感謝します。本当にどうもありがとうございました。

「日社大市民公開セミナーin釧路」開催要綱（同窓会向け）

と き：2016年10月22日（土）14：00開会

ところ：釧路センチュリーキャッスルホテル3階孔雀の間&釧路山花温泉リフレ
（ホテル＝釧路市大川町2-5、温泉＝釧路市山花14線）

テーマ：子ども・子育て支援法施行2年、今こそ子どもの福祉を考えよう
－子どものwell-beingを叶えるために、子どもの「今」を共有しよう－

日 程：13：30 受付開始

14：00 開会…主催者あいさつ、来賓ごあいさつなど

14：10 基調講演

・ 金子 恵美 氏（日本社会事業大学教授）

15：20 シンポジウム

・ 北溝 和代 氏（治水どんぐりの家保育園長）

・ 戸田 竜也 氏（北海道教育大学釧路校講師）

・ 小林 輝親 氏（元千葉明德短期大学教授 北海道同窓会）

* コーディネーター：金子 恵美 氏

* 司会：三上 正明 氏（元旭川短期大学教授 北海道同窓会）

17：00 シンポ終了－閉会…会場移動

18：00 特別講演「社大の果たすべき役割」

・ 伊藤 博胤 氏（日社大同窓会顧問）

18：45 懇親会…宿泊

* 翌日は、朝食後に解散となります。ただし、釧路市内等の観光を希望される方は、申込みの際にその旨をお知らせください。

参加費：① シンポのみ …無料

② シンポ+懇親会 …4,500円

③ シンポ+懇親会+宿泊…10,000円

連絡先：088-0611釧路町豊美2-2-17（0154-36-1250）（豊島）

交通手段：① JR 往～スーパーおおぞら3号（札幌発8：54釧路着13：20）
復～スーパーおおぞら6号（釧路発11：24札幌着15：41）

* 会場まで駅より車で5分、徒歩20分

② HAC 往～563便（丘珠発11：25釧路空港着12：10）

* 空港連絡バスにて、ホテル近くのバス停まで40分

復～568便（釧路空港発16：10丘珠着17：00）

③ 私用車 道東自動車道阿寒ICで下車（札幌から4時間）して、会場まで40分

参加申込書

1. 北海道同窓会員は、出欠確認をしますので、必ず以下について記載の上、返信してください。
2. 社大関係者以外の方は、「参加申込書」としてご利用ください。

- * 秋季セミナーに、
- 1) 参加する
 - 2) 参加できない (道同窓会員のみ)
- で囲んでください。

(ふりがな)

* 氏 名

* 住 所

〒 _____

* 連絡先

① 電 話 _____

② ファックス _____

③ アドレス _____

- * 移動手段…釧路まで…
1. 私用車利用 (直接、セミナー会場へ)
 2. JR利用 (直接、セミナー会場へ)
 3. 飛行機利用 (空港バスにて、セミナー会場へ)

* 宿泊等についてのリクエストがありましたら、お書きください。

- * **8月15日(月)までに必ずご返送ください。**
- 郵送…088-0611 釧路町豊美2-2-17 豊島 節子
Fax…0154-36-1250 (電話兼用)